

# ■■化学療法投与計画書《SOX療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)オキサリプラチン (エルプラット) 130mg/m<sup>2</sup>  
TS-1 ※用量は下記参照

点滴静注 Day1 3週毎  
内服(1日2回) Day1(夕)~15(朝)

※TS-1用量:体表面積に応じて調整  
 <1.25m<sup>2</sup> 80mg/body /日 (20mg 4C 2×)  
 1.25~1.5m<sup>2</sup> 100mg/body /日 (25mg 4C 2×)  
 1.5m<sup>2</sup>< 120mg/body /日 (20mg 6C 2×)

レジメンコメント1
レジメンコメント2

<b>本管①</b>	生理食塩液 100mL	1	瓶

Day2~4  
デカドロン錠4mg 2錠(8mg) 2× 3日間内服

<b>側管①</b>	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg 50mL	1	袋
	デカドロン注射液1.65mg 0.5mL	4	管
15分			

**<注意すべき副作用>**  
 ●過敏症 ●食欲不振、吐き気  
 ●手足のしびれ ●口内炎 ●下痢  
 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血)  
 ●血小板減少 ●肝機能低下

<b>側管②</b>	大塚糖液5% 250mL	1	袋
	オキサリプラチン		mg
120分	〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液100mg「NK」:		
	〈腫〉オキサリプラチン点滴静注液50mg「NK」:		

生理食塩液でルート確保し終了時50mL程度フラッシュ

### <実施時の注意点>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。  
 アルミニウムとの接触により分解するため、アルミニウムが用いられている機器は使用しないこと。  
 本剤投与後数分以内の過敏症状(気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下等)が認められた場合には、直ちに投与を中止し適切な処置を行うこと。また回復後は本剤を再投与しないこと。

### <用量規制因子>

- 開始基準:好中球数≥1500、血小板数≥75000、AST・ALT施設基準上限の2.5倍以下、SCr施設基準上限の1.2倍以下、感染を疑う38℃以上の発熱がない、下痢・粘膜炎/口内炎・手足症候群Grade1以下
- 減量時 オキサリプラチン 130→100→75→50mg/m<sup>2</sup> (3回目の減量が必要になった場合オキサリプラチンを中止する)  
 TS-1 120→100→80mg/日 100→80→50mg/日 80→50→40mg/日